

第2回浦和区区民会議 議事録(確定版)

1 日時：平成17年6月18日(土) 14:00~17:00

2 会場：ときわ会館 5階 中ホール

3 出席者(敬称略)

団体推薦：新井幸芳(青少年育成さいたま市民会議)、大関豊壽(浦和歯科医師会)、小川晃(埼玉中央青年会議所)、小原茂(浦和区自治会)、柿堺一二三(浦和区民生・児童委員協議会)、坂場きみ(地区社会福祉協議会)、坂本和哉(浦和区自治会連合会)、大工原潤(元市民懇話会)、大郷恒吉(北浦和GINZA レッズ商店街)、中島昌男(さいたま市薬剤師会)、新田博利(浦和レッドダイヤモンドズ)、東一邦(さいたまNPOセンター)、藤倉幸親(浦和商工会議所)、水谷元雄(浦和医師会)

公募委員：一柳晶子、樫田範子、岡野昭夫、鈴木隆吉、山本信子

コミュニティ会議委員：秋山忠一(北浦和総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブをつくる会)、岡田唯文(コミュニティキャンパス浦和)、丸山繁子(さいたま市リサイクル女性会議・浦和)、吉岡基代(浦和区四星会)

宮澤健二浦和区長

事務局：小泉俊一(総括参事)、白石清(区民生活部長)、磯部弘(健康福祉部長)、長島光正(区民生活部コミュニティ課長)、三枝政幸(調整主幹)、佐藤好英、丸山彦文(主幹)、金子秀行(副主幹)、大嶋幸子、小宮慶太(主任)

運営補助：安井英人(システム科学コンサルタンツ株)

4 次第

1. 開会
2. 議事
 - (1) 区民会議全体会の活動計画について
 - (2) 開催スケジュールについて
 - (3) 所属部会の決定について
 - (4) 部会ごとの検討について
 - (5) 区民まつりについて
 - (6) その他
3. 閉会

5 内容

開会にあたって

会長より、第1期区民会議に関する市長への報告会(6/7)について報告された。

事務局より、区の色とロゴマークをPRするためのグッズが配布された。

議事概要

(1) 区民会議全体会の活動計画について

事務局より、資料として配布した「区民会議の活動計画(案)」と「委員提案による

検討事項」について、以下の説明があった。

区民会議の活動計画（案）について

区民会議の主な活動は設置要綱のとおりであり、平成 17 年度の事業としては、第 1 期に作成した浦和区魅力あるまちづくり推進プランの実現化方策の検討、市の諸計画や提案された課題についての協議・提言、区や市への提案の検討、コミュニティ会議の活動への支援、活動報告書の作成や視察など、12 項目の案を示した。

委員提案による検討事項

前回会議の後、委員に対して行った所属部会に関するアンケート結果より、その他の具体的な検討事項（自由記述）について、地域の連携や区民参加、浦和駅東口など、8 人の委員の提案を紹介した。

議 長：では、質疑・検討に入る。

委 員：今年度の事業の一つにもなっている諸計画についての協議・提言に関し、第 1 期では緑の基本計画や都市計画マスタープランがあった。我々の意見がどのように反映されたのかわかるようにしてほしい。区民が参加することは重要だが、意見の言いっぱなしになり実感が無い。

事務局：所管課に確認し、どのように対応するのかお伝えする。

委 員：平成 15、16 年度の推進事業費と今年度の予算は同額とのことだが、推進プランを実現するために別枠の経費はとっていないのか。

事務局：推進事業費の各区への配分は均等割りと人口・面積割りが基準であり、各区とも昨年度と同額である。浦和区だけが新規予算を確保することは難しい。また、推進プランは本庁の各課に対する提案と位置づけられ、本庁において検討いただくものと考えている。また、平成 16 年 3 月に完成したため、実現に向けては、平成 18 年度の予算要望に反映されることになる。

委 員：実現するとなれば、莫大な金額になるだろう。優先順位を決めて取り組むようにしなければ絵に描いた餅になってしまうのではないか。

事務局：区役所には市政への提案窓口と身近な行政サービスの提供の 2 つの役割があり、これに対する予算配分となっている。身近な行政として、窓口や緊急の修繕等があり、また、区主導ではなく、自主的なコミュニティ会議への助成も行っている。さまざまな要望については本庁へ伝えている。区には予算の要求権はない。区の権限拡大は大きな課題だが、すぐに転換することは難しいだろう。

議 長：区は当然要望を伝えてくれるが、すぐに予算化はできないだろう。区民会議の検討事項でもあり、今後の問題として区民会議としても意見を述べていくということだと思う。

委 員：基本的な疑問だが、コミュニティ会議という名前はわかりにくい。名前を見ただけでわかるように変えてほしいと思う。

議 長：それは第 1 期から意見が出ていた。だから、名前ではなく、存在や活動を積極的に PR することが必要だと思っている。

事務局：区民会議は、コミュニティ会議が既存の地域組織とは異なるかたちで活動を立上げ、意見を述べることができるように媒介する役割を担っており、そうした意味

でコミュニティ会議として位置付けて進めているものである。

委員：他区との横並びで決めるのではなく、浦和区は浦和区で独自のことを考えていても良いと思う。

委員：シャレのようなのだが、区民“皆気”などにすれば、気持ちも少しずつ新しくなっていくのではないか。また、コミュニティ会議との関係も他区とは異なっている。名前を変えるべきという意見は新鮮である。

委員：本庁において決まっているなら仕方ないが、ただ、愛称などはあっても良いのではないか。運営部会などで、実態にあった愛称を検討すれば良いのではないか。

委員：第1期の2年間で報告書がまとめられ、今後の基本線は出たと思う。これからはそれを実現していかなければならない。アンケートなどを見ると、4割近い人が何らかのかたちでまちづくりに参加したいと答えており、こうした人々をいかにコミュニティ会議や区民会議の活動に巻き込んでいくかが課題だと思う。特に、今後は団塊の世代が地域に戻ってくる。

委員：平成17年度の事業の第1項目として「浦和区魅力あるまちづくり推進プラン諸事業の実現化方策の検討」とあるが、検討で終わるのか。提言、推進と続くのではないのか。

事務局：そのように進めて頂いて構わない。案としての表現の問題であり、ここまでにしてほしいという意味ではまったくない。

議長：それ以上踏み込んではいけないという意味ではないだろう。

事務局：推進プランの中には区民会議として実施するという内容も入っている。内容によって実施主体が異なるため、全体としてこのような表現になっているというくらいの意味だと思う。

委員：2年間広報を担当してきたので、区民会議が知られていないということには責任を感じる。ホームページや広報はあまり見られていないかもしれない。区民会議便りを発行するのは良いと思うが、予算や配布の方法についても検討が必要であり、事務局と相談したい。

議長：区民会議便りについては浦和区だけがつくっていないようだ。ただ、広報にも情報は載せており、それ以外にどのようなものが必要なのか、考えることは重要だと思う。

では、今後の部会の中で、これまで出された意見も念頭に検討を進めて頂きたい。

(2) 開催スケジュールについて

事務局より、資料として配布した「浦和区区民会議 開催スケジュール(案)」について、以下の説明があった。

事務局：前回のアンケート調査を踏まえ、できるだけ皆さんが出席できる機会を増やすため、土曜日の午後と木曜日の夕方を交互に組んだ案になっている。また、あくまでも予定であるため、事情により急遽変更することもあり得ることを了承頂きたい。また、市からの依頼や皆さんからの提案によっては、臨時会も開催されると思う。なお、この全体会のスケジュール以外に、区内や市外の視察も考えられる。時期や場所についてはご検討頂きたい。

議長：全体会は頻繁には開催できない。今年度は8回の開催となっているが、第1期では各部会が詳細に検討した結果を全体会で承認するという進め方だった。この案でいかがか。(異議なし)では、今年度はこの案に基づいて進めることとする。

(3) 所属部会の決定について

事務局より、資料として配布した「所属部会一覧」について、以下の説明があった。

事務局：所属部会の希望調査の結果、企画部会が12名、運営部会が8名、広報部会が5名ということだった。部会確定の考え方として、希望通りの部会とする、人数調整のため3人程度の方に企画から広報に入って頂く、2部会への所属を認め広報部会の人数確保を図る、という3つがあるかと考える。いずれにしても、全部会の日程について通知するので、他部会にもオブザーバーとして参加頂くことができる。ご検討頂きたい。

なお、部会の所掌事項として、第1期では「市政に対する提案・要望」は広報部会の担当だったが、今期は企画部会担当として部会活動の内容を提案した。

議長：部会所属について意見を伺いたい。

委員：広報部会に公募委員がいないので、どなたか移って頂けるとうれしい。ご希望があるので、無理にはお願いできないが。

委員：広報に移ることにする。

議長：複数部会に所属するとなると、出席しなければならない回数は増える。

委員：市民に知られていないということから考えると、公募の方の意見もほしい。

委員：しかし、公募委員は1年目であり、これまでの内容がわからないと広報は難しいと思う。また、広報の担当者は企画部会の内容も知らなければならないのではないか。

委員：コミュニティ会議に関する広報もあるし、全体がわからなければならないということはないと思う。実際に第1期の広報部会は何もわからなかった。また、第1期は複数部会に所属した委員もいる。

委員：部会所属は2年間なのか。それとも今年度だけなのか。

議長：特にルールはないが、2年と捉えている。

委員：実質的にメンバーとオブザーバーは同じように意見を述べられる。

委員：唯一の違いは、日程調整のときにはメンバーが優先されるということだけだ。確定した日程は全委員に通知されている。

議長：では、基本的にはこの部会編成で、あとは各自の自覚でオブザーバーとして出席して頂くことで進めたい。(異議なし)

(4) 部会ごとの検討について

各部会に分かれ、正副部長を選出し、第1回部会の日程を決定した上で、今後の方向性や進め方について意見を交換した。

企画部会：大工原部会長、山本副部会長

第1回部会は、7月15日(金)18:30から開催。

運営部会：大関部会長、岡田副部会長

第1回部会は、7月11日（月）18:00から開催。

広報部会：柿塚部会長、東副部会長

第1回部会は、7月13日（木）18:30から開催。

(5) 区民まつりについて

事務局より、資料として配布した「浦和区民祭り検討会議の設置」について、以下の説明があった。

事務局：浦和区ではコミュニティ活動が盛んなことから、その支援を重視してきたが、浦和まつりやうなぎまつり、十二日まちなどの多くの祭りがあり、区の設置から3年目を迎え、区民のシンボルとなる祭りを検討しても良いのではないかと考えている。このため、区民参加によって区民祭りを検討する会議を設置したい。については、区民会議委員代表として5名程度を選出頂きたい。

議長：委員のご意見を伺いたい。

委員：確かに区民祭りは他区でもやっている。区主催、区民会議主催など、いろいろな形態があると思う。浦和区ではコミュニティ会議が二七の市を行っており、区民会議と区もサポートしてきた。個人的にはあれが区民祭りに代わるものだと思ってきた。別の祭りを立ち上げるように聞こえたが、二七の市を拡充する、あるいはリンクさせるなどについて考える方が良いのではないか。

委員：今年の二七の市を見ると、少し考えてみる必要があるような印象も持った。常盤公園では夜は人が少なく、市民会館のステージを活用して文化系の発表会を行うなども考えられるのではないか。浦和の文化性も強調できるし、雨天も気にしなくて良い。何か工夫はできると思う。

委員：二七の市の拡充については体制上の考え方であり、文化面の追加については内容上の意見だったと思う。矛盾はしないように思う。両立して実現できるかどうかは検討会議で検討できると理解する。ただ、一般的に大きな行事になると、行政が前に出てくる。また、関係者が増えると内容は面白くなる。浦和駅東口広場のオープンなども絡めて考えられるかもしれない。

議長：確かに場所の大きさの課題はあると思う。二七の市を商店街の振興策と捉えるのか、区民会議がもっと参画するのか、も関係するだろう。例えば、市役所の広場で各自治会がテントを持ち寄って参加するとか、美術館や市民会館のホールを使うとか、いろいろなことが考えられる。

委員：二七の市を行ってきたが、浦和区では区民祭りではなく、区民主体のコミュニティの中で進めようということだったと思う。自治会主体で商店街がバックアップしてできることは3年を目途と考えていた。常盤公園は確かに狭いが、行政主催では夜のイベントはできないだろうということで、そうした企画もした。1年目は桜の開花時期でにぎわったが、2年目は範囲を拡大するため、幅広く声をかけたが、常盤地区の祭りという雰囲気の中で協力が今ひとつだったことも事実である。手作りに近い現状で課題はある。行政と違うことをやろうという意気込みで空回りしている面も否めない。いろいろな改善案も検討しているが、いずれにし

ても3回目で少し整理する必要はあると思っている。区民会議にパトタッチすることも考えられるのかもしれない。

事務局：区民との協働という前提は変わらない。二七の市も実行委員会が工夫を重ねており、感謝している。今後もコミュニティ会議として継続して頂きたいと考えている。ただ、協働という考え方のもと、行政の問題意識も共有して頂きたいと思い、提起させて頂いた。さまざまなコミュニティ会議も4年目からは支援がなくなり、ネットワークからはずれるのは勿体ないと思っており、区民祭りを通じて交流の機会や場所なども提供できるのではないかと考えた。財政面もコミュニティ会議の課題であるので、二七の市以外の機会もあれば良いのではないかと考えている。文化関係のイベントへの要望も強まっており、そうした諸々の課題を念頭に提案した次第である。

議長：二七の市を継続することも考え合わせると、すぐに結論は出せないのではないかと。5名の代表選出は保留するか。

委員：7月に会議を立ち上げたいのであれば、次回の検討でも間に合うのではないかと。

議長：各部長のご意見を伺いたい。

委員：事務局の想定しているスケジュールは大丈夫なのか。必要性も確かではあるが、今決めるのも難しそうなので、事務局には日程が少し厳しくなることを覚悟してもらい、次回検討してはどうか。

委員：他区でやっているから浦和区でも、という考え方は不要だと思う。ただし、全体を見直すことは必要なようなので、時間をかけて考えてはどうか。

委員：区民祭り自体が必要か否かも含めて検討する会なのであれば、委員を出すのは良いような気がする。

委員：委員の構成も含め、会議の考え方について、次回検討してはどうか。

議長：それでは、この件については次回までに各自、考えて来て頂きたい。これまでも、他区でやっているから、という発想ではなく、我々に適したやり方を選んできている。それを今後、どうしていくかという視点でご意見を伺いたい。

(6) その他

事務局より、浦和区防犯対策協議会（仮称）を組織し、地域住民と関係機関が連携したパトロール活動や防犯意識の向上を目指すため、設立準備会を設置する予定としていることが報告された。

(7) 次回開催日程について

第3回については7月21日（木）午後2時から開催することを確認した。

以上